

報道関係者各位

「Walkability Index」をLIFULL HOME'Sの物件周辺の 徒歩圏内環境を評価したスコアとして掲載

”暮らしやすさ”から住まいを選ぶ、新たな指標としての有用性を検証開始

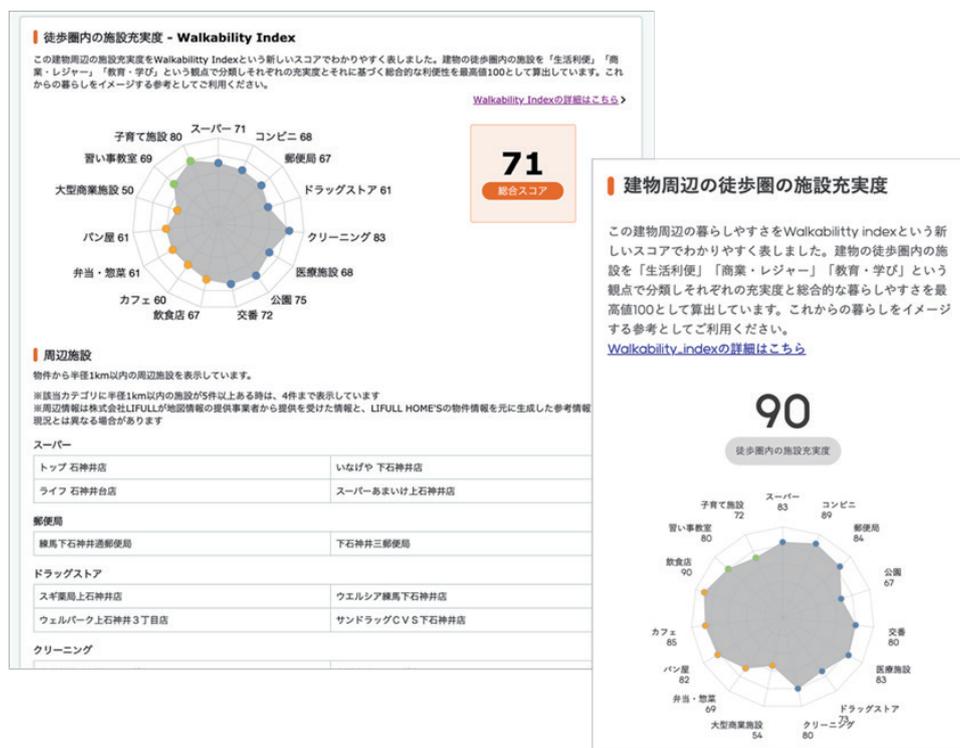
株式会社日建設計総合研究所（代表取締役 朝倉博樹）が国立大学法人東京大学 空間情報科学研究センター 不動産情報科学研究部門（清水千弘特任教授）監修のもと開発した『Walkability Index』（特許出願中）が、株式会社LIFULL（ライフル）の情報サイトに、徒歩圏内環境を評価したスコアとして掲載されます。

2020年9月8日（火）より、株式会社LIFULLが不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」の「不動産アーカイブ」および「住まいインデックス」にて、暮らしやすさの観点から物件周辺の徒歩圏内環境を評価したスコア「Walkability Index」の提供を開始します。

”暮らしやすさ”から住まいを選ぶ、新たな指標としての有用性の検証が行われます。詳細については、株式会社LIFULL (<https://lifull.com/news/>)にてご確認ください。

◇ 不動産アーカイブ：<https://www.homes.co.jp/archive/>

◇ 住まいインデックス：<https://lifullhomes-index.jp/>



[本件に関するお問い合わせ先]

日建設計総合研究所 広報担当：山本、荒井 Tel.03-5259-6080、e-mail: webmaster_ri@nikken.jp



暮らしやすさの観点から、不動産徒歩圏の環境を評価する指標『Walkability Index』

『Walkability Index』は、ある地点から徒歩で到達できる範囲に、スーパー、コンビニ、カフェ、飲食店、医療施設、子育て施設、文化施設など生活をする上で近くにあって嬉しい「都市のアメニティ」がどれだけ集積しているかを100点満点で評価する指標です。本指標は、株式会社ゼンリン提供の各種データ及び都市に関するオープンデータを用いて算出しています。

『Walkability Index』の主な特長

○不動産の周辺環境を数値でわかりやすく可視化

初めて訪れる街でも周辺環境が直感的に把握しやすく、今住んでいる街との比較も容易にできる。

○徒歩で到達できる範囲のアメニティを集計

詳細な歩行経路データを用いて徒歩圏を設定しているため、直線距離を用いた場合と比べより実態に近い。

○任意の地点ごとにピンポイントに点数化

50m四方のエリアごと（一街区相当）に点数を算出しており、同じ駅の周辺でも場所による差を表現できる。

『Walkability Index』のラインアップ（例）

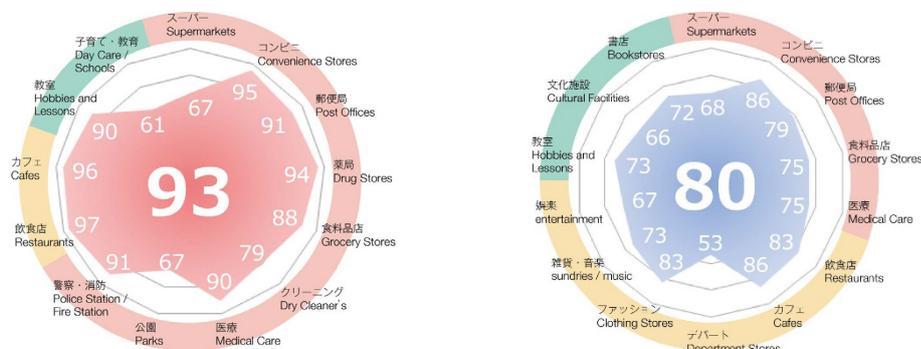
- ・ Walkability Index for Residences : 住宅向けに特化した指標（左下）

Families : ファミリー向けに特化した指標

Singles : 単身向けに特化した指標

Seniors : 高齢者向けに特化した指標

- ・ Walkability Index for Businesses : 業務商業向けに特化した指標（右下）



ヒートマップ表示による可視化（例）

